

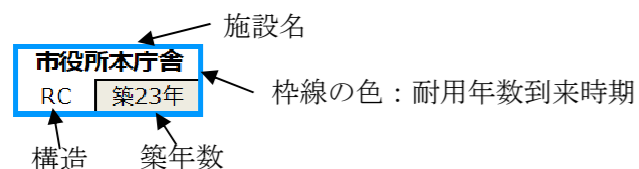
(1) 縦軸・横軸

縦軸⇒用途別に公共施設の配置を検討するため、縦軸は公共施設の用途別に分類し、用途別の方向性を記載。
 ※庁舎施設～保健・医療・福祉施設：市が設置かつ運営に関与することが必要であると考えられる施設。
 用途ごとに全市的に配置を検討していく。
 ※公民館、地域学習センター等～学童保育所：各地域に設置が必要であると考えられる施設。
 地域ごとの統合・複合化によりにぎわい創出、地域拠点化を検討。
 ※幼稚園、こども園～駐車場施設：民間でも設置・運営が可能であると考えられる施設。
 「譲渡」等により公民連携を拡大することで、サービス水準の向上を検討。
 ※余剰施設：再配置事業等により未利用となった施設。
 譲渡等により処分・利活用を図る。

横軸⇒地域づくりの観点も含め公共施設の配置を検討するため、横軸は都市計画において地域づくりの単位としている9中学校区に分類。

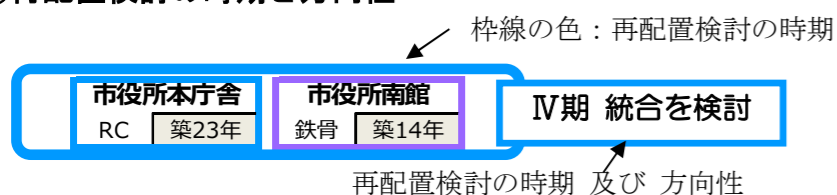
(2) 個別施設の標記

①各施設の基礎情報

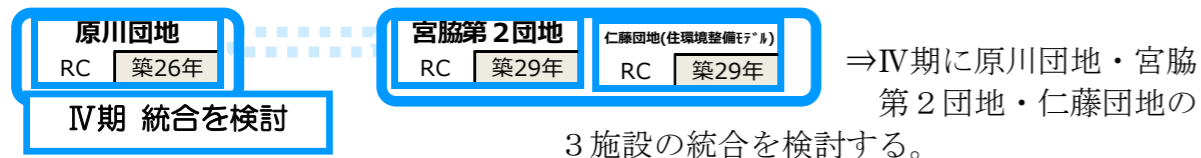


注1 施設に複数棟ある場合、「築年数」欄は棟ごとの面積による加重平均値を表示
 注2 耐用年数は、木造=30年、RC・鉄骨=60年と設定

②再配置検討の時期と方向性



注1 二重点線で繋がっているもの



注2 方向性 = 「継続」の施設
 方向性 = 「継続」以外の施設
 長寿命化を図り、既存施設を長く安全かつ適正に管理。
 設定された「時期」までは安全かつ適正に管理し、「時期」到来後「方向性」を基本として、個別案件ごとに関係者と協議・調整、実施計画作成などのプロセスを通じて具体的に検討する。

用途別の方向性を記載

地域づくりの単位として中学校区に分類

用途別 方向性	掛川市 人口 115,561人		
	原野谷中学校区 人口 4,097人 1,555世帯 施設 11施設 延床20,003㎡	桜が丘中学校区 人口 14,310人 5,644世帯 施設 12施設 延床24,867㎡	西中学校区 人口 22,934人 10,372世帯 施設 31施設 延床71,251㎡
庁舎施設	本庁舎・南館の統合 支所の複合化	IV期 統合を検討	市役所本庁舎 RC 築27年 市役所南館 鉄骨 築18年
消防・防災施設	消防施設は継続(長寿命化) 防災施設は当面、機能維持	中央消防団区分 鉄骨 築32年	
環境・衛生施設	板沢、環境保全センターは廃止、それ以外は継続(長寿命化)		生物圏環境センター RC 築29年
住宅施設	居住誘導区域内に統合	原谷第2団地 RC 築16年 V期 統合を検討	吉岡団地 鉄骨 築45年 II期 統合を検討
文化ホール	規模の見直し、統合		大池第3団地 RC 築43年 大池第4団地 RC 築42年 大池第5団地 RC 築36年 大池第6団地 RC 築37年 III期 統合を検討
社会教育施設	利用状況と利用圏域を勘案しながら統合		文化ホール 鉄骨 築32年
文化施設	民間活用及び経営改善		
スポーツ施設	利用状況と利用圏域を勘案しながら統合		
学校給食センター	適正規模に統合		
子育て支援施設	統合、複合化及び民営化		
保健・医療・福祉施設	機能を勘案し統合、複合化		
公民館 地域学習センター等	学校再編に伴い 小・中学校へ複合化		
小中学校	学校再編により統合		
学童保育所	学校再編に伴い 小・中学校へ複合化		
幼稚園、こども園	こども園は継続(長寿命化)、 幼稚園は未就学児の人口推移等を勘案しながら、譲渡・統合・廃止		
レクリエーション施設	原則民営化		
商業・産業施設	機能を勘案し統合、 民間活用		
駐車場施設	機能は維持しながら 原則民営化		
余剰施設	譲渡等により 処分・利活用を図る		

用途ごとに全市的に配置を検討

地域ごとに統合・複合化することで
にぎわい創出・地域拠点化を検討

「譲渡」等により公民連携を拡大することで
サービス水準の向上を検討

用途別に分類